（別添資料１）

事業所名　ぱんの木すてっぷ　　**支援プログラム**　　作成日　令和７年　１月　30日

法人（事業所）理念		利用者とその家族の願いに寄り添い、尊厳を重視し常に利用者の立場になっての療育支援を心がける。		
支援方針		子どもたちの安心して活動できる場所、友だちと楽しみながら色々なことを経験できる空間を提供し、一人一人の個性を大切にしながら自立と成長を支援します。『どんな小さいことでも出来たことを褒める』褒めて育む療育支援を心がけます。		
営業時間		10時　30分から　17時　0分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	トイレトレーニング。避難訓練。 時間の理解と共に、時間を意識した行動を目指します。 自身の持ち物の管理が出来るようになると共に、自身で通所・帰所時の準備が出来るよう目指します。		
	運動・感覚	サーキット：フープ・マット・ラダー等色々な道具を組み合わせ、体幹を養っていきます。 リトミック：様々な楽器に触れ音楽に興味を持つ。音の心地よさを味わう。リズムにのりリズム感を養っていきます。 季節に対する工作：おりがみや画用紙等をはさみ・のり・色鉛筆・シール等を使い創造性を養い、手先の動きも養います。		
	認知・行動	順番が待てる、交代できる事が定着するように一人一人に合わせたサポート。 児童のペースに合わせ気持ちをコントロールできるようサポートしていきます。 学校での宿題や課題に一人一人に合わせた学習サポートを行い、前向きに課題に取り組んでもらいます。		
	言語 コミュニケーション	カード：（職業・反対言葉・文字ひらがな・カタカナ等）を用いて自身からの発語を引き出していきます。 自己紹介：挨拶・自分の名前、学校・幼稚園・保育園名、好きな〇〇を言葉のみでなく指差しやジェスチャー等、一人一人に合った意思の伝え方を模索し練習します。 小集団の中、お友だち、スタッフとのやり取りを楽しいと感じてもらう中から言葉をひきだし、コミュニケーションを養います。		
	人間関係 社会性	ルールのあるサーキットリレー等をみんなで行い楽しみの中ルールの大切さを学んでいきます。 お友だちとの関わりの中で良好な関係を結ぶにはどうすればいいのか、時にはプログラムの中で子どもミーティングを開いたり、活動中に対話を行い円満な関係の構築、社会性を養えるように目指していきます。		
家族支援		保護者面談 保育園・幼稚園・小学校との連携	移行支援	就園・入学先へ当事業所での様子の情報共有。 就園・入学に向けて一人一人にあてた課題の実践。
地域支援・地域連携		各関係各所との連絡事項の共有 市内（大阪市）市外福祉事業所との連携 市内福祉協議会への参加	職員の質の向上	定期的な事業所間でのミーティング 外部研修への参加。 参加研修の情報共有。